

## 【キャプテンとして部員44名をまとめ上げ、関東大会優勝!!】

私の強みは人を動機付けする力です。私は大学3年時、フットサル部でキャプテンを務めたのですが、最初は価値観の違いに困惑し全く統率がとれませんでした。そんな中、部長になって初めての大会で惨敗し本気で悔しく、どうせやるならこのまま終わりたくないと思い、自分の行動を変えました。取り組んだことは、自分自身が率先し、誰よりも努力をして部員を動機づけること、具体的には下記の3つです。

**①部員のニーズを把握する** 部員を巻き込んでチームを活発にするために、まずはメンバーが何を考え、何を求めているのか知ることから始めました。

その際に部員44人全員と一対一で面談しました。

**②把握したニーズに合った環境をつくる** 具体的にはYouTubeで試合の動画をシェアしました。より活発な意見交換ができる環境を自ら作りました。

**③技術面の向上を図る** 技術がなければ勝てません。休日の大会に自主参加し、苦手だった左足の克服をしました。その結果、レギュラーを守りました。

自分が率先して努力し、その背中を部員に見せることで動機付けし、チームを活性化しました。

ここまで努力してきた要因は”認めてもらいたい”にあります。

私は幼少期に双子の兄と比較されながら生きてきました。勉強が学年で1番できた兄と違い、私には性格の良さしかありませんでした。そのため私は”嫌われたら終わり”という思いが強くなりました。自分の存在価値は人との繋がりしかないと感じていました。そのために、好かれる努力をしてきました。具体的には相手のニーズを察するということです。言われる前にやってあげる、会話の中で感じとるなどです。この力は自然と身につきましたが、結果として今の自分自身にプラスに働いています。

これらの経験から私は人に認められたい、双子の兄ではなく、自分を見てほしい、他の人より評価されたいという強い想いで努力してきました。フットサル部で医学部に所属して、結果を残したのも、これに起因します。

私は不安定に強い生き方を目指しています。そのためには自分の能力を高め、替えの利かない存在になることが必要だと考えています。私は社会に出てからも、これらの経験で学んだことを生かし、自らが最初に努力し、自分の能力を最大限に高め、その姿勢を通じて周りを動機付け「不安定」に強い生き方を目指していきます。